

「春に備える」

——あの日の「思い」と「頑張り」を胸に——

先日、本校第17期生の入学者選抜のための適性検査が行われました。皆さんにも校内の掃除や検査場の準備、そして週明けの登校時には、教室の復元と後片付けにと大変協力してもらいました。皆さんのお陰で後輩達は、緊張しながらも気持ち良く実力を発揮してくれたことと思います。

ところで、皆さんはあの入学者選抜の日の緊張を覚えていますか。思い出すと大変に長い1日だったかもしれませんが、あの日の「心」があるからこそ、あの日の頑張りがあるからこそ、今の自分があるのです。「初心忘れるべからず」という諺にもあるように、あの日の緊張感と決意を折に触れ思い出してほしいのです。そして「今の自分はこれでいいのか」と少し振り返ってみて下さい。

当時、抱いていた「心」や「思い」を思い出すことは、自らを謙虚にさせてくれます。今日までの努力と成長を自覚することが、自分への自信を高め、しっかり学習して将来の夢を叶えたいと明日への希望を新たにさせてくれます。夢の実現へと繋がる小さな目標をできるだけ沢山用意し、目の前の目標を意識した生活を送ることは「夢への充電」が順調に進んでいるかどうかのバロメーターです。夢を叶えようと本校の受検を決めた時のこと、適性検査に臨んだ日の「思い」と「頑張り」を胸に、My Career Roadを一步一步前進して行ってほしいと思います。

最後に、錦丘での中高6年間で叶えたい夢を叶えるために「今」すべきことは何か、「今」やっておいた方がいいこと、「今」しかできないこと等、春までにできることは沢山あるのです。そして、間もなくやってくる新しい学年への節目をトップスピードで通過できるよう備えてください。 校長

(令和2年2月 全校集会)